

2 棟方志功記念館の存続について

小熊質問 多くの市民にとって、記念館存続の危機に際して、建設当初から深く関わってきた青森市が手をこまねているのは解せない。松原地区での**記念館の存続を青森市長が積極的に県知事に働きかけるべきではないか。**

部長答弁 記念館は設立以来、一般財団法人棟方志功記念館が所有、管理してきた。土地は本市が県に貸付け、財団が転借する形となっている。閉館は新型コロナによる来館者数の減少、施設の老朽化などによるが、事務所も青森県立美術館内に移転し、作品も同所に移動の予定。

財団は記念館閉館後も「法人」としては存続し、県立美術館を拠点として棟方志功画伯の顕彰事業に取り組む。建物については、所有する財団および県との協議の結果をふまえた対応が必要。

小熊意見 太宰治には斜陽館があり、寺山修司には三沢に記念館がある。志功さんの魂のよりどころは故郷の志功記念館ではないか。世界遺産を抱える青森市はまた、世界の棟方をも大切に、名前を冠した記念館を守る街であってほしい。

質問を終えて

- 質問前は傍聴席に応援の皆さんの顔が見えていたのに、壇上ではたちまち緊張して喉がカラカラ。自席でも落ち着いて反論する余裕がなく、ほとんど原稿を読むだけで終わってしまいました。
- 演台の向こうに青森市民が浮かび、つい力が入って声が大きくなりました。
- 八甲田の風力発電や棟方志功記念館など、青森市の根幹に関わる問題には市長の答弁があつてしかるべきと思いましたが、いずれも担当部長のみで、市長の答弁はいただけず、残念です。

除排雪のご相談はこちらへ

〈雪に関する市民相談窓口〉

【青森地区】

○平日 市役所代表 ☎ 017-734-1111

○休日 直通 ☎ 017-777-0160

【浪岡地区】 ○浪岡振興部都市整備課

直通 ☎ 0172-62-1168

【青森地区ファックス】017-752-9019

【浪岡地区ファックス】0172-62-8125

【両地区共通】

e-mail yuki-sodan@city.aomori.aomori.jp

8:30~18:00 土・日・祝日、年末年始も開設

【窓口担当】

青森市都市整備部道路維持課 017-752-8398

3 青森開港400年と博物館設置

小熊質問 昨年度第4回定例会で、開港400年を祝う機運醸成のために意見交換を行っていく旨の答弁があつたがその後の経緯をお伺いしたい。

理事答弁 8月に港町あおもり誕生400年準備会が官民15団体で発足。令和6年度より3年間の記念事業を計画。開港400年の歴史への理解、学術的活動、広報、イベントなどの検討が進められ、本市も準備会で関係機関と連携を図りながら開港400年の機運醸成などの意見交換を行う。

小熊質問 青森開港400年を記念して、全国で唯一博物館のない県都・青森市に、将来を担う子どもたちが歴史や文化を学ぶことのできる直営の登録博物館を設置すべきと思うが市の見解は。

部長答弁 登録博物館設置には要件が必要なので設置は考えていない。現在ある4つの博物館類似施設を見学することで縄文時代から近現代までの歴史・文化を総合的に理解できる。専門的な知識を必要とする取り組みは学芸員資格を有する職員と連携しながら実施する。類似施設が特色のある魅力的な施設となるよう努めていく。

議場に大型モニター登場

今議会から議場正面と議席の後ろに大型モニターが設置されました。質問の残り時間が刻々と表示され、議員にも、また傍聴の方やケーブルテレビの視聴者にも、議事の進行がわかりやすくなりました。

来期からは議席に設置された表決ボタンで、議案の賛否もモニターに表示となる予定です。

なお、起立による最後の賛否表明は、みちのく風力発電事業の中止を求める「請願」と「意見書」の全会一致での採決でした。